



写真:側溝の中の二ホンアナグマ (撮影:平成20年5月11日)

「二ホンアナグマ」

側溝がお好き そしてちょっとおとぼけもの

えびの高原を代表する動物として「シカ」がいますが、同じくらい出会いやすいのがこのアナグマです。特に春と秋の夕方にえびの高原内を散策するとよく出会うことができます。ちょっとおとぼけもので、歩いて近寄ってきたかと思えば目の前で慌てて逃げたり、やぶから現れたかと思ったら目の前をトコトコと横切ったりということもありました。名前のとおり「穴」を好み、移動する際よく穴を活用します。側溝はアナグマにとって格好の移動ルートのように、高原内に張り巡らされた側溝の経路は人間よりアナグマのほうが詳しいかもしれません。地中に穴を掘って巣穴を作ります。以前、巣穴から枯草等の巣材を外に出す姿が撮影されました。人間と同じ「布団干し」をしているのでしょうか。なんともほほえましい行動です。

これから暖かくなりアナグマも活発になります。今季はどんなおとぼけな姿と出会えるか楽しみです。

(文/えびのエコミュージアムセンター)

二ホンアナグマ
Meles anakuma

食肉目 イタチ科